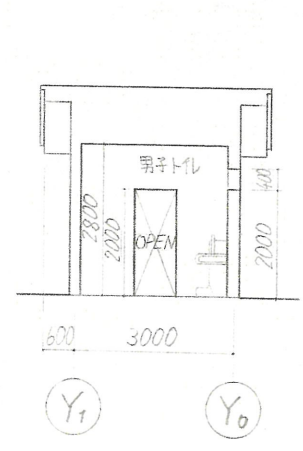


配置図 兼平面図 1:50

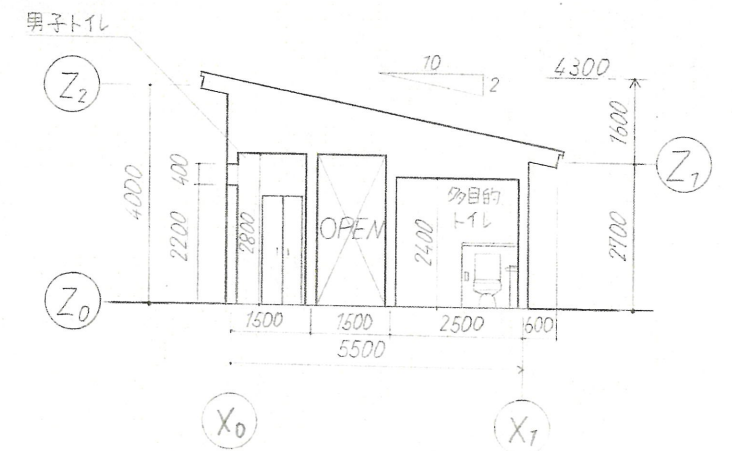
**コンセプト**  
 私は誰もが使いやすいトイレとしました。まず工夫したことは車いす利用車や体が不自由な方、小さい子どもでも使いやすいことと東側の段差にはスロープ、西側の段差には蹴上げを低くした階段を設置し、スロープと階段および水を結ぶ通路に手すりを設置しました。こうすることで車いす利用車の方でもスロープがトイレに段差を気にせずに行くことが出来るし、体が不自由な方や小さい子どもでもスロープを使うことで段差につまづくことも無く、階段を使っても蹴上げが低いので上りやすくなります。他にも便器の横に手すりを設けたり、多目的トイレを広くする工夫をしました。こうすることで体が不自由な方も手すりにつかまる事が出来るし、多目的トイレに広いので車いすでも方向転換がしやすく自由に動くことが出来ます。

**面積表**

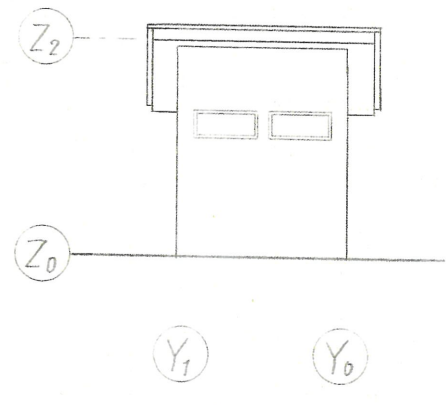
面積種類	計算式(単位 m)	計
敷地面積		57.5 m <sup>2</sup>
建築面積	3×1.5 + 3×2.5	12.0 m <sup>2</sup>
延床面積	3×1.5 + 3×2.5	12.0 m <sup>2</sup>
建ぺい率	12 ÷ 57.5 × 100	20.87%
容積	12 ÷ 57.5 × 100	20.87%



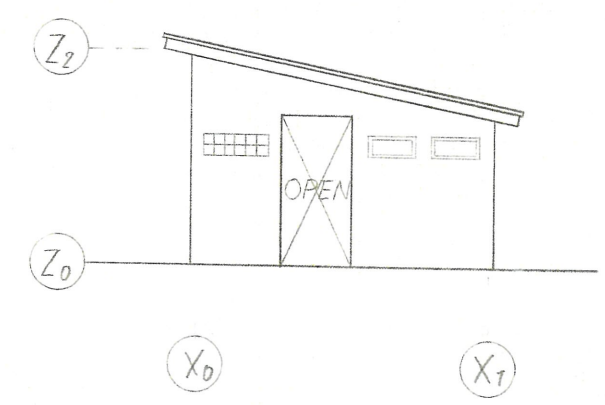
A-A断面図 1:100



B-B断面図 1:100



南立面図 1:100



東立面図 1:100